

学生の音楽情報調査について

A Research on Musical Information of Students.

依藤 里子

I はじめに

現代の情報化社会は、さまざまな面で著しい発展をとげている。そこで、18歳～19歳の相愛女子短期大学学生を対象に、日常生活の中で音楽情報をどのような方法で得、そこに何を求めているかといった問題意識に立って調査した。その結果を報告する。

II 調査方法

調査期間：平成4年7月1日～7日

調査対象：相愛女子短期大学学生 640名

調査内容：口答で下記の質問をした。音楽は、クラシックと歌謡曲・演歌・ロック・ジャズ等を含むポピュラーの二つに分けてたずねた。

- 1)音楽情報をどのような方法で得ていますか。
- 2)得た音楽の内容を深く知りたい時は、どのようにしますか。
- 3)どういう時に音楽が聞きたくなりますか。
- 4)聞いた音楽に何を期待しますか。
- 5)何か楽器が演奏できますか。
- 6)楽器を演奏したり、うたを歌うことがありますか。
- 7)自由にできる時間は1日に何時間くらいですか。

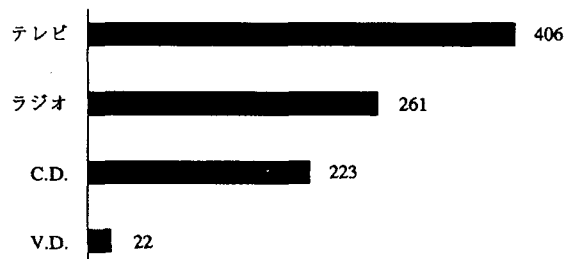
III 結果及び考察

音楽情報を得る一般的な方法として、テレビ、ラジオを利用する場合は圧倒的に多い。それは、広範囲であらゆる音楽を提供してくれるからである。

そこで、学生が日常生活の中で音楽情報を何によって得ているかをたずねた。(表I、表II、回答はすべて複数回答とした。)

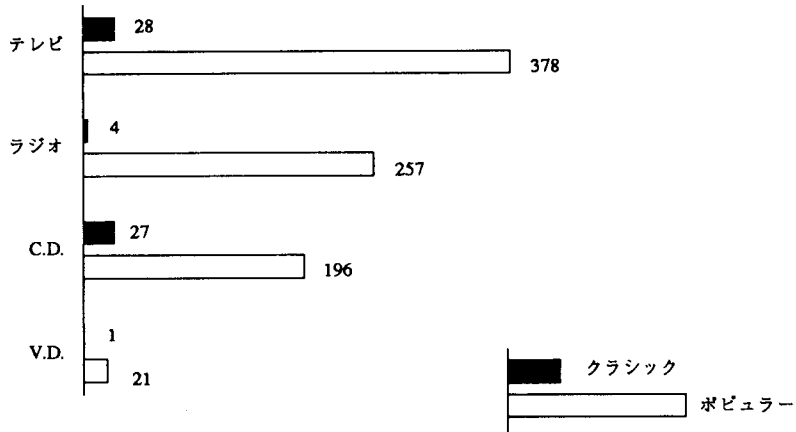
まず、テレビはクラシック、ポピュラー共優位を占め、テレビに依存していることが窺える。次に、ラジオはテレビにつぐ情報源であるが、いずれもポピュラーが大半

表I 音楽情報源



学生の音楽情報調査について

表II クラシックとポピュラーの関係

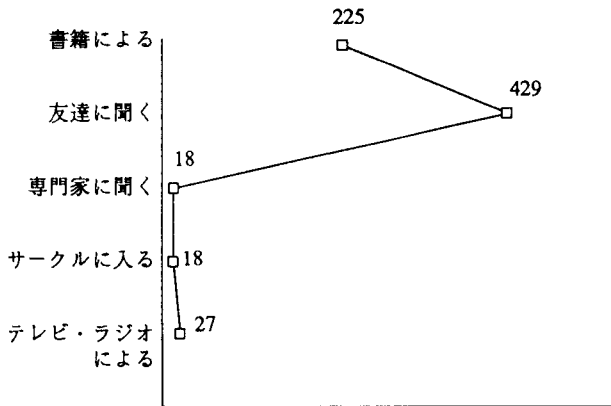


を占め、クラシック離れの傾向にある。また、C.D.、V.D.は双方共、ポピュラーが優位にとどまり、情報源としては、テレビ、ラジオより利用頻度の低下を示している。

このような結果から、いずれの情報も、クラシックにはほとんど関心を示さず、歌謡曲・演歌などに興味を持っているようである。又、情報源もテレビ・ラジオに依存することが多く、C.D.、V.D.は今後に期待したい。

では、内容をより専門的に深く知ろうとする時、何によっているかをたずねた。(表III)

表III 内容の把握方法



これについては、「友達に聞く」が圧倒的に多く、次いで「書籍」が多い。このことは学生の日常生活に密接した方法であり、常に周囲に影響されながら理解を深めているようである。

次に、このようにして得た音楽情報に対して何を感じ、求めているのかをたずねた。(表IV) その結果、学生は情報を積極的に集め、音楽を聞くことにより楽しむ傾向にあり、さらに、楽器を演奏したり、うたを歌うことによって、心に感じたままを表現する事ができれば、「ストレスの発散」になると答えた。

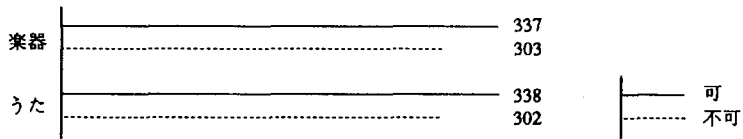
そこで、日頃、うたを歌ったり、楽器を演奏したりするかをたずねた。(表V) 又、どうい

学生の音楽情報調査について

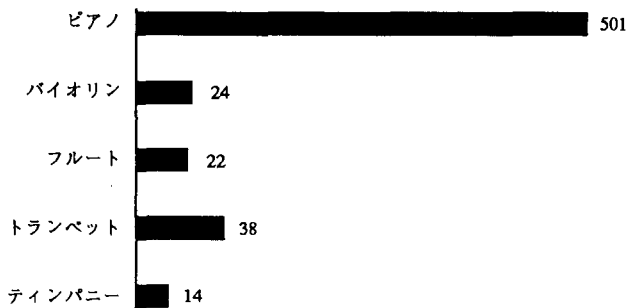
表Ⅳ 音楽による精神的働き



表Ⅴ 歌唱及び楽器演奏の可、不可



表Ⅵ 演奏可能な楽器の種類

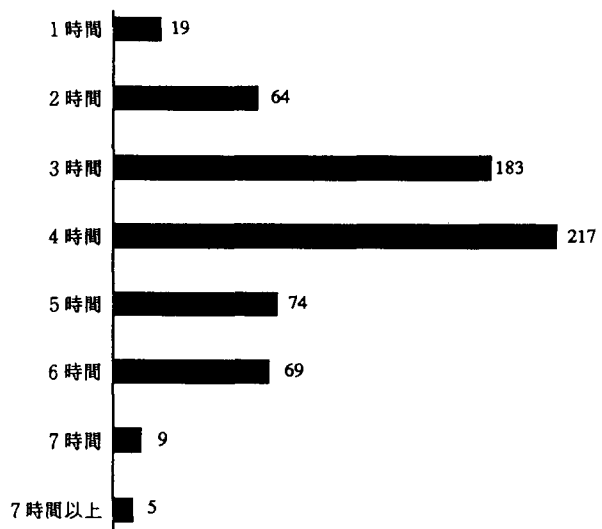


楽器を演奏しているかもたずねた。(表Ⅵ)

まず、うたを歌ったり、楽器を演奏する学生は約半数である。

楽器については「ピアノ」が圧倒的に多く、次いで「トランペット」が多い。仮にこれらの楽器を十分使いこなす事ができ

表Ⅶ 一日の自由時間



なくとも、生の音楽には、その時にしか味わえないものがあり、演奏の出来、不出来の問題ではなく、気分転換ができるようである。

それでは、学生にとって自由にできる時間は一日に何時間くらいかをたずねた。(表Ⅶ)

学生にとって4時間の自由時間が最も多く、次いで3時間が多い。この自由時間に、「テレビを見る」が圧倒的で、次に「雑誌を見る」⁽¹⁾と答えた。このことから、音楽は、日常生活を楽しむためにあるようである。

IV おわりに

以上の調査結果をまとめると、学生は、日常生活のあらゆる面で、新しい情報を積極的に求めている。その中でテレビ・ラジオ・雑誌で音楽情報を得、得た情報で楽しみ、ストレスを発散しているようである。これは単に、実用性だけでなく、生活を楽しむためでもある。

今後はポピュラーだけでなく、広くクラシックにも耳を傾け、心と体で感じ、いつも新たな感動する心を育み育て、持ち続けなければならない。さらに内面の成長をとげ、語りかける演奏であることを願う。

今後、調査を続け、今回と一年経過後とを比較検討して行きたい。

註(1)「テレビを見る」の内訳は「ドラマを見る」と「ポピュラー音楽を聞く」で二分される。

《参考文献》

1. J.M. コレドニル 佐藤良雄訳：「カザルスとの対話」白水社 1988年
2. 野村良雄 柴田南雄 服部幸三 大宮真琴 小泉文夫編纂：「標準音楽事典」音楽之友社 1967年